

# 天沼小だより

文責

校長 丹羽 悦子



## 運動会 たいへんお世話になりました

9月22日（土）の運動会は、前日までの雨で天候が心配されましたが、晴れ間が広がり、素晴らしい好天となりました。プログラムをすべて終了することができ、子どもたち一人一人が、一生懸命取り組む姿をご覧いただけたと思います。緊張しながらも今までがんばってきた練習の成果を発揮しきれるよう取り組む姿は、見ている人に感動を与えてくれました。一人一人が、がんばった成果で、どの団も絆が深まりました。運動会を通して、がんばる心やみんなで協力してつくりあげる楽しさ、各係をやり遂げる責任感などを学べたように思います。

学校行事を通して、子どもたちは成長をしていきます。今回の運動会で経験したことが、次につながるよう教職員一同、子どもたちの成長を後押ししたいと思います。ご家庭でも、ぜひがんばる気持ちや協力する気持ちなど育てていただけたらと思います。

最後になりましたが、片付けの際、たくさんの保護者の皆様にお手伝いいただき、早く終了しました。ありがとうございました。また、PTA本部、保体委員、学年委員、地区委員の皆様には、早朝よりお手伝いいただきましたことに感謝申し上げます。

## 児童会 なかよし集会



【クイズの出題で、○か×か移動します。

大いに盛り上がりました】

### 天沼小〇×クイズ

- ◆全校児童数は415名である。
- ◆先日の運動会は、第46回である。
- ◆図書室の机は6つである。
- ◆コンテナ室は2つある。

正解はお子さんに聞いてください。

9月28日（金）朝行事の時間に、なかよし集会が開かれました。児童会代表委員の子どもたちが考えたクイズに、全校児童が○か×かで答えます。正解が簡単には分からない問題なので、当たると大喜びで、会は盛り上がりました。このような活動（遊び）を通して、みんなで楽しみ笑い合うことはとても大切なことと思います。

## 9月の全校朝礼の話 低学年にも分かるよう扉は、ドアと言いかえて話しました。

みなさんは、心に扉（ドア）があるのを知っていますか。目には見えない扉ですが、誰にでも扉はあるのですが、外側にしかひらきません。そしてその扉には、取っ手がないのです。だから一度閉まってしまうと誰かが強い力で引っ張ってあげようとしても、絶対に開かないのです。



では、どのようなときに、心の扉を閉めてしまうと思いますか。それは、お友だちからいじめられたり、仲間はずれをされたり、いたづらをされりしたときなのです。

では、どうしたら心の扉は開くのでしょうか。それは、内側からなら開くのです。ちょうどお日様の暖かさで花が咲くのと似ています。

心の扉を閉めてしまったお友達には、お日様の暖かさが必要なのです。では、お日様の暖かさというのは、何でしょう。

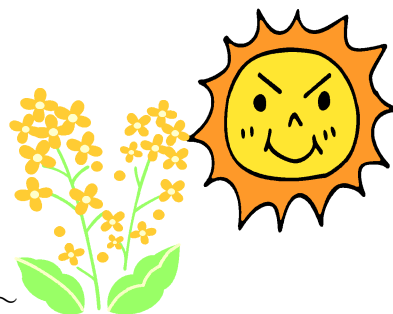
皆さんは、イソップ物語の「北風と太陽」というお話を知っていますか。

北風と太陽が、旅人のマントをどちらが脱がせられるか、競争したのです。最初は、北風が強い風をビュンビュン起こしマントを脱がせようとしませんが、マントをしっかり握って放しません。次に太陽が、旅人に暖かい日差しを注ぎました。旅人は、暖かい日差しを浴びてマントをぬいでしまいました。こうして北風と太陽は、太陽が勝ったというお話です。

人の心の扉を開けるためには、このお話に似ています。お日様のような暖かさとは、お友達に対する優しい言葉かけや態度だと思えます。

皆さんの心は、皆さんだけの大切なものですが、それは、お友達や先生、お父さんやお母さんの温かい心ややさしい言葉に触れたとき、はじめて扉が開き宝物のようにかがやくのです。

「優しさのシャワーが降り注ぐ学校」そんな学校をみなさんと、作っていきましょう。天沼小みんなの願いの1です「いじめのない、みんな仲良しの学校」です。ね。 ～子どもたちの心に響いてくれることを願っています～



## 陸上記録会に向けてがんばっています

10月11日（木）に実施される桐生市陸上記録会に向けて、放課後、練習に取り組んでいます。

それぞれの種目に挑戦し、記録を少しでも伸ばそうとがんばる姿からは、たくましさを感じます。

先生方もそれぞれの種目について、タイムを計ったり、アドバイスをしたりしています。各自が記録を塗り替えて、自信につなげてほしいと思います。



